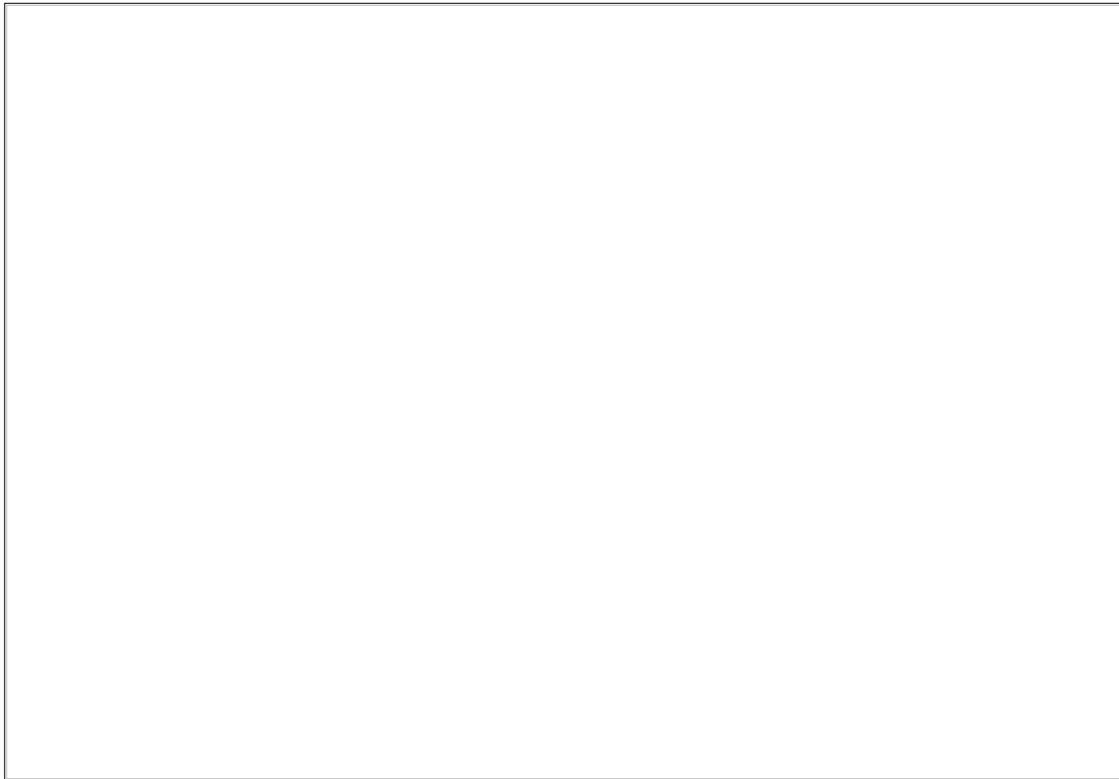




——— 自立への道案内 ———



もくじ

●俺たちの自立記念日（クリエイティブハウスパンジーの場合）	2
●リレー・エッセイ（第6回）初・海外旅行！（小坪琢平）	6
●地下鉄調査隊（大阪市営地下鉄今里線）	10
●バリアフリー情報（大阪市バス&阪急バス編）	16
●便利福祉機器（アボネット）	20
●編集後記	24

# 俺たちの自立記念日

## クリエイティブハウス・パンジー インタビュー ～障害者自立支援法の影響を探る～

### ～はじめに～

昨年4月から障害者自立支援法がスタートし、今まで様々な方々が創ってきた自分らしい生活が崩されています。それは作業所やグループホームなども例外ではなく、運営が厳しくなっています。そこで今年度の俺たちの自立記念日では3回に分けて、障害者自立支援法によって「どのような影響があるのか？」という点をインタビューしていきたいと思います。

<取材日> 2007年3月23日(金)

<場所> クリエイティブハウス・パンジーⅡ  
(3階建ての建物でコンクリート打ちっぱなしのモダンな外観でした)

東大阪のクリエイティブハウス・パンジーのグループホームで生活されている皆さんとスタッフの方にお話を聞いていきたいと思います。

～主役紹介～ (グループホーム入居者の皆さんです)

生田さん

岡本さん

表さん

中多さん

西村さん

福田さん

山本さん (グループホーム担当)

～スタッフ紹介～

\*南光 龍平 (自立生活センター・ナビ ピア・カウンセラー 障害:脳性マヒ)

\*小坪 琢平 (自立生活センター・ナビ スタッフ 障害:脳性マヒ)

\*松崎 有己 (自立生活センター・ナビ スタッフ 障害:頸髄損傷)

\*西川 淳子 (自立生活センター・ナビ 健常者スタッフ)

～はじめに～

小坪: 早速ですが、まずパンジーの事業内容を教えてもらえますか。

山本：パンジーには、グループホームが10カ所あります。他には日中活動の場としてパンジーⅠパンジーⅡがあります。4月からもう1カ所出来ます。あと自立生活支援センターわくわくがあります。わくわくではヘルパー派遣や当事者によるピア・カウンセリングをしています。

小坪：パンジーⅠとかパンジーⅡではどんな事をしてるんですか？

生田：仕事

松崎：どんな事をされていますか？

表：グリコしたり、ネジしたり、マフィン作ったり。ペットボトルのキャップ閉めもできます。

福田：甘くておいしいマフィン作ってます。

生田：昔は弁当もしてたね。

南光：パンジーの1階で日中活動をしてるんですか？

中多：そうです。売るのもレジもやります。

小坪：何人くらいの方が通われていますか？

山本：パンジーⅠが30人（内容：パン屋・軽作業）・パンジーⅡ25人（内容：軽作業・マフィン作り・販売）っていう感じになっています。

## ～グループホームは10カ所あります～

小坪：グループホームは全部で何カ所ありますか？

生田：10カ所あります。

松崎：グループホームに入っておられる方は全員で何人くらいおられるんですか？

山本：38人くらいですかね。

南光：その内、ひとり暮らしをされてる方は何人くらいいますか？

山本：1人です。

南光：その方のサポートもされてますよね？

山本：わくわくでヘルパー派遣をして食事や掃除をフォローしています。ヘルパーがいない時の食事は近くのグループホームに食べに来たりしています。

小坪：その2人の方はグループホームからひとり暮らしをされたんですか？

山本：いえ初めからひとり暮らしされています。

小坪：たくさんの方がグループホームやひとり暮らしされていますが何人くらいの介護者でまわしてるんですか？

山本：チーフ世話人・サブ世話人・介護者合わせて総勢30人くらいです。チーフ世話人がコーディネーターを兼務しています。

松崎：グループホームに入っておられる方の年齢層は？

生田：僕が1番年配で64才。後は30代が多いかな。当事者はみな年いくわな（笑）

西川：結婚されている人は？

生田・中多：私たち結婚してます。

小坪：そうなんですか。離れた場所に座ってはったから気づきませんでした。

松崎：一番初めにグループホームを立ち上げたのはいつ頃ですか？

山本：1991年ですね。

松崎：15年くらいの間に10カ所まで増えたということは、かなりのハイペースで立ち上がった事になりますよね。大変な事も多かったんじゃないですか？

山本：平均的に増えてきたというよりも、府営住宅をグループホームとして使えるようになったのが2000年からで増えたのはそれからですね。

松崎：1カ所のグループホームには何人くらいの方が生活されているんですか？

山本：3人～5人ですかね。

小坪：今日のインタビューに、協力してもらっている皆さんは、グループホームで生活されて何年くらいになるんですか？

生田：僕は7年やわ。

西村：2年かなあ。

表：私は何年くらいかなあ？

山本：表さんは7年くらい。福田さんも同じくらいやね。

中多：岡本君は？

岡本：何年かな？

山本：岡本さんも長いですわ。6年か7年。中多さんは結婚後だから3年くらいですね。

南光：うちのグループホームの場合は、相談を受けて自立生活プログラムをやって体験入居をしてグループホームに入居するという流れが多いですが、パンジーさんではどんな感じですか？

山本：入居までの流れは、確かにそういう形がベストだと思います。いま入居されている方の多くは以前からパンジーに通っていた方が入居する事が多いです。

小坪：よく僕たちが自立をする時は、親とかに反対される場合が多く、親を説得するのに時間がかかったりするんです。今までグループホーム入居を巡って家族から反対されたりする事はありますか？

山本：体験入居を繰り返し行って、段階を踏んで進めていく中で家族の人たちにも理解してもらえているので反対された事はないです。

松崎：在宅からグループホームに入られる場合が多いんですか？それとも地域移行？

山本：大半が在宅です

小坪：府営住宅以外のグループホームはどんな所なんですか？

山本：普通のマンションを借りています。4LDKを探すのが大変で・・・

小坪：1ヵ月の生活費はどのくらいなんですか？

山本：年金＋生活保護です

南光：お家賃はどのくらいなんですか？

山本：食事（3食付き）・光熱費込みで6万5千円です。

## ～自立支援法になって変わった事～

小坪：今回のインタビューのテーマでもあるんですが、障害者自立支援法になって影響がどんな風に出ているかをお聞きしたいのですが。

岡本：ヘルパーが少ない。

小坪：もう少し具体的に教えてもらえますか？

山本：グループホームの支援のための財源が不安定になり、安定した支援の体制を組むのが難しくなっています。特に夜間緊急時の体制は、以前4人の入居者の所に2人の支援者が泊まっていた、緊急時に1人が動く事も可能でしたが、現在は体制的に難しくなりました。

南光：他にはどんな事がありますか？

山本：今までは、個別支援の視点から、ホームヘルパーや生活保護の他人介護料を利用してきました。それが自立支援法により結果的に「支援＝入居者の個別支援」という視点がなくなり、複数の入居者に対して、何人の支援者が必要かという視点が法制度的に強くなってしまって・・・

小坪：体制的に厳しくなったら個別のニーズに対応するのは難しいですもんね。

山本：財源の減少により、支援の効率化を余儀なくされています。その事で介助者1人にかかる負担が高まり、良い状態で働くことが難しくなっている。

南光：介護者集まりますか？

山本：資格が厳しくなって介護者が集まりにくいというのはあります。

小坪：どんな方法で介護者集めを行ってはるんですか？

山本：人材センターとか、アルバイト情報誌に掲載したり、知り合いの人からの紹介が多いです。

西川：皆さん生活保護なので負担金とかはないんですか？

山本：4月から給食費の1割負担はあります。

松崎：当事者の方にお聞きしたいのですが、障害者自立支援法になった事によって、生活がしんどくなったと感じるときはありますか？

生田：今まではヘルパーさんが週3回来ていたけど週2回に減った。

## ～これから～

松崎：制度は厳しい状況ですが、これからもグループホームは増やしていく方向なんでしょうか？

山本：増やしていきたいと思っています。

南光：ニーズは多いですか？

山本：地域移行を進めるという中で入所施設から出てくる人も多いと思うからこれからも頑張っていきたいです。

小坪：最後に皆さんの夢を教えてください。

生田：アメリカに勉強をしに行きたい。

中多：東京ディズニーランドに行きたい。

生田：もっと大きな所に行っていきたい！（笑）

西村：アメリカにもう1回行きたい。結婚もしたいし。貯金もしたいし。その他色々やりたいです。

表：う～～～ん。結婚もしたい。

福田：彼氏が欲しい。デートしたい。

岡本：これからは野球を見に行きたい。

南光：どこのチームのファンですか？

岡本：阪神タイガース！

南光：そうなんや。僕もですわ。

小坪：今日は長時間ありがとうございました。制度が変わって行く中で大変な事も多いですけど頑張ってくださいませ！

## ～インタビューを終えて～

利用者のニーズをいかに達成するかではなく、どれだけの支援が必要かを先に考えるようになった事で本人の個別支援という考え方が薄れつつある事に支援者としても歯痒い思いをしてる事が良く分かった。

(小坪)

「転落防止用可動式ホーム柵（ホームゲート）が全駅に設置されました(^o^)」

発着時に車両のドアと同時に開閉する。

赤外線センサーと圧力センサーにより、人や物が挟まることのないようになっている。



- ・圧力センサー（黒い棒状の物）赤外線センサーで感知されなかった細い物（白杖など）を感知する。
- ・赤外線センサー（黒い3つの点）人や物が挟まる前に感知する。

大阪の鉄道路線初となるホームゲート（腰までの高さの自動開閉柵）が設置された。待望の転落防止対策である。※ホームドア（天井までの高さの自動開閉柵）はニュートラムに設置されている。

今後大阪市営地下鉄全線に設置されることが望まれる。ホームドア設置の問題点として、「停車位置がずれると乗降ができなくなるため高度な停車位置制御をしなければならぬ」ということがあげられるが、長堀鶴見緑地線の車両は今里筋線の車両と同型であり停車位置がコンピューター制御されておりすでにこの問題はクリアされているので、まず、他路線と比較して設置が容易な長堀鶴見緑地線への設置が現実的かと思われる。その後地下鉄の他路線、また関西における他の鉄道会社への普及も待たれるところである。

## 気になる駅のワンポイント解説 1

## ・地下鉄千日前線、近鉄線への乗り換え「今里駅」

同路線の始発(終着)駅かつ千日前線への乗換駅となった。交通の要衝である今里交差点に位置する。なお、近鉄大阪線の今里駅は当駅から東南東に800m程離れている。

## ・地下鉄中央線への乗り換え「緑橋駅」

今里筋線ホームから中央線ホーム西側の改札付近への連絡通路が延びている。連絡通路には動く歩道(今里筋線→中央線方向のみ)が設置されている。

## ・JR学研都市線への乗り換え「鳴野駅」

JR学研都市線鳴野駅への乗り換え駅だが、

JRの方にはエレベーターもエスカレーターも設置されておらず、階段のみでのアクセスとなる。大阪外環状線乗り入れに備えた開発によって、エレベーターやエスカレーターが設置される可能性はある。

## ・地下鉄長堀鶴見緑地線への乗り換え「蒲生4丁目駅」

今里筋と鶴見通の交点である蒲生4交差点に位置する。「がもよん」と略されることもある。

## ・京阪への乗り換え 「関目成育駅」

関目成育駅は国道1号線地下の京阪本線(関目駅付近)と交差する位置にあり、地下埋設物がある関係で、上下線のホームが異なる階にある。蒲生四丁目・緑橋・今里方面行きホームは地下2階、太子橋今市・井高野行き方面行きホームは地下4階にと分離して配置されている。

同駅が「関目成育」駅の名称となったのは谷町線に関目高殿駅があり、混同を避けるためである。

谷町線関目高殿駅までは約200mあり、関目高殿駅とは乗り換え駅ではない。谷町線との乗り換えには太子橋今市駅を利用する。

## 気になる駅のワンポイント解説 2

## ・鶴見緑地北西口の最寄駅「新森古市駅」

大阪内環状線(国道479号線)と国道163号線が交差する緑1交差点の西側に位置する。

## ・「清水駅」

朝夕に当駅発着列車が運転されており、今里方に留置線がある。周辺は住宅地であり、目立った集客施設はない。

## ・地下鉄谷町線への乗り換え「太子橋今市駅」

谷町線ホームの大日側から今里筋線のコンコースに繋がっている。

所在地は大阪市旭区となっているが、駅施設の半分以上が守口市内にある(今里筋線の駅は完全に守口市内であり、旭区内にあるのは西改札以西の施設のみ)。

## ・「だいどう豊里駅」

「だいどう」が平仮名になっているのは、駅近くに大桐(だいどう)および大道南(だいどうみなみ)の2つの町名が隣接して存在することによる。

## ・「大阪経大前」の副駅名を持つ「瑞光4丁目駅」

今里筋線の開通に伴い大阪経大前～瑞光四丁目間に大阪市営バスの地下鉄瑞光四丁目停留所が新設された。

## ・始発(終着)駅「井高野駅」

当駅から阪急京都本線正雀駅(摂津市一部吹田市)、JR京都線岸辺駅(吹田市)千里丘駅(摂津市)方面への延伸案や、地下鉄御堂筋線江坂駅(吹田市)方面への延伸案が考えられているが、実現の見通しは立っていない。

## 『今里筋線利用者予測の3割』

大阪市交通局が昨年末開業した地下鉄今里筋線(8号線)の開業約1カ月後の利用者数が、1日平均約3万7000人と当初予測の12万人の30%程度にとどまっていることが分かった。市は需要予測に基づき、約30年後に単年度黒字に転換すると見込んでいたが、このまま低迷が続けば赤字が膨らみ?お荷物路線?となる。甘い見直しに対する批判や、収支計画の大幅な見直しは避けられそうにない。

調査は、新線開業後の利用動向を探るため、1月末の平日に実施。今里筋線11駅の自動改札機を通過した人数と、同線への乗り継ぎで駅構内の連絡通路を通った人を足し合わせた。

市は開業前、1日の平均利用者数は初年度の12万人から伸び続け、2011年にピークの17万人に達すると予測していた。

市交通局の担当者は「開業1カ月の段階なので、予測が甘かったと考えるのは早い。全体的な利用者増の傾向はあり、低迷しているとは思わない」と話す。今里筋線の通勤・通学定期の利用率は26%と市営地下鉄全線の43%に比べて低いことから、定期の更新期である春の切り替えに伴う利用者増を期待している。

2007.03.08大阪日日新聞ニュースブログより

## 『JR知っとリマスカットクイズ』

### 問題①

今里筋線の関目生育駅は地上面からプラットフォーム（井高野方面のホーム）までの深さが大阪市営地下鉄線内で2番目に深い駅となっています。同路線の太子橋今市駅は3番目に深い駅となっています。

では大阪市営地下鉄線内で一番深いところにあるのは何駅でしょうか？

### 問題②

今里筋線（井高野～今里間）の建設にはどれくらいの費用がかかったでしょうか？

- A. 271億8千万円
- B. 2,718億円
- C. 2兆7,180億円

### 問題③

大阪市営地下鉄の最高速度は時速何kmでしょうか？

- A. 時速70km
- B. 時速90km
- C. 時速100km

## 隊長のお言葉

隊長 : 久しぶりぶり、地下鉄調査隊が復活じゃー。イエイ！(^o^)/

隊員A : 地下鉄の調査は2年ぶりくらいです(^)

隊長 : 新しい路線が増えるとはうれしい限りじゃ(^-^)

隊員A : そうですね、でも今後はもうこんなことないかもしれないですね(-\_-)

隊長 : うーん、残念じゃがこの今里筋線の延伸計画すら実現しそうにはないからな(-\_-)

隊員A : 大阪市は財政難ですから、これ以上赤字が増えると、福祉にも影響がありそうで怖いですし、むしろその方がいいのかもしれないですね。(^-^;)

隊長 : 無料乗車証が廃止されるなんてことになったら嫌じゃからなー(どっちしろ廃止されそうな気配はあるが)(^-^;)

隊員A : それはそうとう困りますね(^)

隊長 : しかし、なんと言っても今回の今里筋線の目玉は、ホームゲートとストレッチャー対応型の23人乗りのエレベーターじゃな(^o^)(

隊員A : どっちもびっくりしましたよ。さすがにホームゲートは感動モンでした(^o^)/エレベーターもたっぷり余裕の広さで、電動車いすが三台に、プラス2、3人健常者が乗ってもまだ少し余裕がありましたもんね(^-^)

隊長 : びっくりクリクリくりっくり(^-^)

隊員A : ホームゲートは今後すべての地下鉄路線に設置されるんでしょうか？

隊長 : びっくりクリクリくりっクリリン(^-^)

隊員A : もういいですって！ちゃんと質問に教えてくださいよ(!-\_-!)

隊長 : そんなに怒らないでm(\_\_)mいくつか

課題はあるじゃろうが、クリアできない問題はないはずじゃ。その気になればそう遠くない将来に実現できるとワシは考えておる(-\_-)

隊員A : 交通局のやる気次第ってところですね(^)

隊長 : そうじゃなr(^);

隊員A : しかし、開業前に行った試乗会は良かったですね(\*^o^\*)

隊長 : うーん。あの時撮ったビデオを紹介できないのはとても残念じゃ(-\_-)

隊員A : ホームページの方に掲載したらいいんじゃないですか？

隊長 : おぬし、かしこいな。すごいな(^-^)

隊員A : それほどでもないですけど。(ていううか普通気付くんだけどなあ)(^-^;)

隊長 : ワシもそう思っていたところじゃ(^)

隊員A : ですよええ～(ほんとに気付いてたのかなあ。怪しいなあ)(;^-^A

隊員A : いつものお約束の質問ですけど、次はどの路線を調査するんですか？

隊長 : 予定は未定じゃ。

隊員A : やっぱり(-\_-#)

隊長 : というよりも、実はそろそろ解散しようかと考えておる(-\_-)

隊員A：えっ、うそでしょっ(>\_<)

隊長：ちょっとだけマジじゃ。というよりも脱皮といったところかのお(-.-)

隊員A：脱皮？意味がわかんないっス(>\_<)

隊長：まあワシにもよくわからん(^-^)

隊員A：もうっ、いったいどういうことなんスか？(>\_<)

隊長：今はないしょ(^\_-)☆今回はとりあえず、さらばじゃ(^o^)/~~~

隊員A：えっ。ちょっと待ってくださいよ(+\_)なんかすごく重大な発表っぽいんですけど、そんな中途半端に終わっちゃていいんですか？(@\_@)

隊長：編集長の小坪っちなら分ってくれるじゃろうて(\*^o^\*)

隊員A：じゃろうてって(;^\_^Aいやいやそういう問題じゃないと思うんですけどもう(-\_-#)

またいつものように適当な発言で締めくくってしまった隊長。どうなることか不安を残しつつフェイドアウトの調査報告。今回もこれにて無事終了。

それゆけ地下鉄調査隊、めげるな地下鉄調査隊、「次の駅には何かが待っている」

「お知らせ」

地下鉄調査隊ではみなさんからの情報をお待ちしております。駅の様子は時々刻々と変化し続けています。「エレベーターが付いたよ」「こんなおすすめスポットがあるよ」など何でも結構です。私たちは常に最新の情報をお伝えしてゆきたいと考えております。是非ご協力の程よろしくお願いいたします。

地下鉄調査隊 隊員一同

## 『JR知っとりマスカットクイズ』の答え

### 問題①の[答え] 大阪ビジネスパーク駅

地上面からプラットホームまでの深さが32.3mであり、大阪市営地下鉄線内で一番深い駅となっている。

### 問題②の[答え] B. 2,718億円

今後、今里筋の地下を今里から湯里六丁目まで延伸する計画案があり、この場合の事業費はさらに約1,320億円余計にかかるの見積もられている。しかし、関市長が計画案の見直しを選挙公約としていたことから分かるように、大阪市の財政状況と今里筋線の利用状況に照らし合わせると、延伸される可能性はかなり低いものと思われる。

### 問題③の[答え] A. 時速70km

ちなみにJR西日本大阪環状線の最高速度は100kmです。

# バリアフリー情報

## 大阪市バス&阪急バス

今号から、大阪府内を走っているバスのバリアフリー状況について掲載していきたいと思います。第1回目は、ノンステップバス・リフト付きバス・地域密着型コミュニティバスが誕生した経緯や形状について紹介します。それから、阪急バスに乗りに行った報告もします！

市バスは、クリームとグリーンの明るいデザインで、後乗り(中乗り)・前降りの料金後払い方式をとっており、全車冷暖房・低床・広幅扉の車両で、大型方向幕、停留所名表示器、プリペイドカード対応の料金収納機を設置し、より利用しやすくなっています。また、ひとにやさしいバスをめざして、車いす利用の方にも楽に乗り降りできるリフト付きバスや、停留所で空気バネの空気を抜き、第一ステップを約5cm下げることのできる車高調整装置付のバス、さらに乗降口からそのまま車内の床面に乗れるようステップをなくしたノンステップバスなどを導入し、車両の低床化に努めるとともに、排気ガス中の窒素酸化物や黒煙を低減できるハイブリッドバスや天然ガスバスなどの低公害バスも導入しています。

### ノンステップバス

ノンステップバスは、乗降口からそのまま車内の床面に乗れるバスで、平成9年3月から運行し、現在、リフト付きバスと合わせて195両72系統で運行しています。(ノンステップバス148両(小型ノンステップバス「赤バス」を除く)、リフト付きバス47両)

床面までの高さは地上から約30cmで、従来のバスに比べ約50cm低くなっています。乗降口は前扉(出口)と中扉(入口)で、中扉にはスロープ板を設置しており、車いす利用の方にも楽に乗降していただけます。



ノンステップバス (前扉)



ノンステップバス (中扉)

## リフト付バス

車いす利用の方やお年寄りの方が、安全で快適に乗降していただけるよう、平成3年11月から全国に先駆けてリフト付バスを導入しました。

運転手のボタン操作により車両前部の降車用ステップがリフトになり、その昇降によって車内に乗り込むことができます。

また、左右にあり前輪後部のベンチシートをはね上げると、車いす固定スペースとなります。



車いすを固定した状態



リフト付バス

将来にわたり、市民生活に最も身近な公共交通サービスをどのように提供していくか検討するなかで、多様化する市民・利用者の移動ニーズへの対応や、新たな需要開拓の参考とするため、平成12年5月20日から小型ノンステップバスによる新しいバスサービスの試行を市内の5地域で実施しました。試行では、運行時間帯・運行回数・停留所間隔・運賃制度などについて新たな条件を設定し、これまでのバスでは走行が困難であった道路も運行できる小型ノンステップバスを用い、区役所や病院・買い物施設などと住宅地を結び、市民生活や地域によりきめ細やかなバスサービスの提供を図りました。その後、試行や潜在需要調査等の結果を踏まえ、関係各局や区役所などと協議・検討を進め、平成14年1月27日から運行地域を18行政区21ルートに拡大し、地域密着型のコミュニティバス（愛称：赤バス）として現在は26ルートで運行しています。

## [赤バス運行の考え方]

- 1 地域住民の日常生活に密着した施設の連絡  
...福祉施設や公共施設、商店街、病院等を廻る路線とする
- 2 地域住民の利便性を図る  
...原則として行政区内で完結する路線とする
- 3 重複サービスの回避  
...一般バス等との並行となる区間の少ない路線とする



赤バス車両（車いす用スロープあり）

#### 4 地域住民の日常的な移動ニーズに対応

…運行時間帯は9時から19時の間とする

#### 5 道路環境・需要等からバスの運行が困難とされていた

地域住民へのサービスの提供

…車両は利用しやすい小型ノンステップバスを原則とする



赤バス走行風景

#### 【赤バスの特長】

- ① 料金は誰でもわかりやすく気軽にご利用いただけるよう、大人100円（小児50円）とする
- ② 車両はお年寄りや車いすをご利用の方をはじめ、どなたでも楽に乗降できるよう、バリアフリーに対応した  
ノンステップバスを使用（車いす用スロープ板も装備）
- ③ よりきめ細やかなサービスの提供を図るため、一般バスよりも短い停留所間隔を目指す
- ④ 運行ダイヤは平日・土曜・休日とも同じで、等間隔のわかりやすいダイヤとし、1時間に2～4回の運行とする

#### 【小型ノンステップバスの特長】

- ① 乗降口と車内の床面の上にステップのないバスで、車両全長は6.5mと従来のバスより約4m短く、乗車定員は22～27名です。
- ② バスへの乗降は前扉で行います。
- ③ 乗降口の高さは地上から約32cmで従来の路線バスの3分の1程度で、安全・快適に乗降できるようになっています。
- ④ 乗降口には、スロープ板を設置しており、車いすでご利用の方も楽に乗降できます。
- ⑤ 車内には座席をはね上げると、車いすが固定できるスペースを1か所設けています。



赤バス車内（車いす固定風景）



赤バス停留所標識

（大阪市交通局ホームページより一部抜粋）

## 《阪急バスに乗った感想とバリアフリー状況》

4月末に、阪急バスのバリアフリー調査に行きました。阪急茨木駅から乗って福井宮の前駅（駅名を言っても分からない人の方が多いと思いますが・・・。）で降りようと思ったんですが、途中で寝てしまい終点まで行ってしまいました。乗る前に運転手さんに「福井宮の前まで」と伝えてあったのに・・・「起こさんかちゅうねん！」その、終点の周りは山ばっかり！あそこに住んでいる人達は、どうやって生活しているんだろうと思いつつ阪急茨木駅までのバスを寒い中待っていました。

さて、バリアフリー状況ですが、バスに乗降する時は、地下鉄に乗降する時のデクパック（スロープ）よりは、少し幅が細くて長いデクパックを使用していました。手馴れた手つきでやってくれたので気分良く乗ることが出来ました。デクパックの高さは、詳しくは測っていませんが、手動車いすでは1人で乗降するのは後ろに倒れそうで怖いので、後ろから支えてもらう必要があります。車内での車椅子を固定する方法は、前後に太いマジックテープを車椅子とバスの手すりに巻き付けて固定していました。マジックテープが取れそうで「なんか頼りないなあ。」と感じました。運転手さんに少し話を聞くことができたんですが、まだまだ、障害者がバスを利用するのは少ないそうです。車イスの利用者は1ヶ月に10人ぐらいだそうです。やっぱり、電車の方が便利なんかなあ～！？

みなさんも、バスに乗る回数を増やして、改善してほしい点等は、どんどん交通局などに意見を言って、その結果、誰でも安心してバスに乗れるようになったらいいですね！

見た目は、1人で乗降できそうに見えるかも  
分かりませんが、これが、意外と怖い！！

固定方法は、こんな感じ。手すりと手動  
車いすのこぐ所と繋げて巻きつけている。

## 編集後記

みなさんいかがお過ごしでしょうか？

趣味でバンド活動を再開させた事は、以前リレーエッセイで報告しましたが、早いもので再開して4年になります。練習場所まで行くのに毎回某私鉄バスを利用しています。以前は低床バスの台数が少なく、事前に予約しないとバスが利用できない状況でしたが、現在は僕が利用する路線は、どの便でもワンステップバスもしくは、ノンステップバスが走るようになりました。利用し続けた成果だなあと実感しています。しかしワンステップバスの方が多いのが気に入りませんが（怒り）

ソフト面は、全く変わっていないと言っているでしょう。スロープの出し方・収納方法・車いすの固定方法を覚えておらず悪戦苦闘する運転手が残念ながらほとんどです。

対応も本当に無愛想で、面倒そうに「乗るの??」と言われます。乗るたびに嫌な気分になるので困ったものです。そんな事もあり、今回から「社会資源情報」の中で数回に分けてバスを取り上げていく事にしました。今までの調査隊シリーズ同様に少しでも活用して頂けたら嬉しいです。

<こっぼ>

△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△-▽-△

## 自立生活センターナビとは…

☆ 私たちの考える「自立」は…

働いてお金を稼ぐ事や身の回りのことを全部自分で出来るようになる事、それだけが「自立」でしょうか？もちろんそれも大切なことですが、できない事は人の手を借りたり、気持ちを手よく伝えられないときには仲間にサポートしてもらったりしながら、一人一人の生活を創っていくことも「自立」に色々な方法でお手伝いしていきたいと考えています。

☆ 地域で障害者の自立を実現していくための「道案内（ナビゲーター）」として例えば「介護してくれる人を探しているんだけど?」「家の中をもっと使いやすくしたいけどどうすればいいの?」そして「自立したいけど自分には無理かな?」

自立生活センター・ナビでは、こうした障害者や家族の悩みや相談について、障害を持つピアカウンセラーが同じ障害者の立場でお話を伺い、制度の説明や申請のお手伝い、住宅改造などのアドバイスをさせていただきます。その他、電動車いすで街へ出かけたり仲間と一緒に料理を造ったり地域で生活していく上で必要なことを、楽しみながら経験できる「自立生活プログラム」や、自立生活に関わる各分野の方々をお招きしてお話を伺う「自立生活セミナー」の開催、情報誌「ナビゲーション」の発行も行っています。

発行 自立生活センター・ナビ

でんわ 06 (6760)2671

住所 〒546-0042 大阪市東住吉区西今川2-3-8

ファックス 06 (6760)2672